






研 修 記 録

平成 21 年度 第 1 回定例研修会		日 時	平成 21 年 9 月 4 日 13:00 ~ 16:30			
		場 所	大分市美術館 研修室			
司 会	事務局 首藤(グランドホーム古国府・施設長)					
参加施設と参加者	別紙「第 1 回定例研修会参加者及びグループ分け」参照					
研 修 会 経 過	<p>13:00 定時開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 研修会の概要及び講師への謝辞、また今回はじめて行うグループワーク立案の経緯について、その概要を説明 <p>13:05 【第 1 部・講演】</p> <p>演題：『職場の人間関係とメンタルヘルスマネジメント』</p> <p>講師：中村廣光氏（財）日本臨床心理士資格認定協会認定 臨床心理士 別府大学大学院 臨床心理専攻 教授 大分県臨床心理士会 産業部門 理事 別府大学短期大学部 心理学関連講座担当 教授 社会福祉法人大分いのちの電話相談員 スーパーバイザー NPO 法人大分被害者支援センター 臨床心理士カウンセラー 詳細(別紙スライド参照)</p> <p>14:05 謝辞 峯 光一(スカイホームあけの・施設長)</p> <p>14:10 【第 2 部・グループワーク】</p> <p>生活相談員のグループとケアマネグループ 5グループに分かれ、日頃抱えている問題についてグループを3回変えながら、より多くの参加者と意見交換を行った。 詳細は別紙「第 1 回定例研修会 グループワーク記録」参照</p> <p>16:20 まとめ</p> <p>グループワークについての意見を参加者に求めた後、オブザーバーとして参加した役員に総括としての意見を述べていただいた</p> <p>16:30 閉会</p> <p style="text-align: center;">* 今回の研修会に対するアンケートの内容は 別紙「第 1 回定例研修会 アンケート集計」を参照</p>					
備 考	・ 会場借上げ代金... 7 , 3 5 0 円 (冷房費 2,100 円込み)					
回 覧 印	会 長	副会長	副会長	委 員	委 員	委 員
						
記 録	事務局 グランドホーム古国府 首藤 毅 志 印					

1 - A グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	古賀 学	ケアホーム偕楽園	
2	川久保 洋美	グランドホーム古国府	進行
3	石部 純子	アーバンリブ金池	
4	三重野 元江	ジュエル藤原	
5	歳納 京子	悠久の里 万葉	記録
6	松谷 哲	ジュエル藤原	ワザバ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
担当者会議での決定事項のうち、対応が困難で継続できない事例について	
認知症の方と普通の方とのトラブル対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・会話がかみ合わないことがトラブルの原因 ・行事等を別にすることも検討中 ・居室の移動があることを入居時に説明 ・
決定したことを実施する方法	申し送りノートに記録を残すことができればよいが、その方法については模索中

【特定協に依頼すること】

ケアプランの実施記録の取り方

1 - B グループワーク記録用紙

NO.	氏 名	施設名	備 考
1	園田ひとみ	グランドホーム古国府	進行
2	嶋本光子	おおいた南	
3	大山小夜子	グランドホーム坂の市	
4	井門俊宏	ケアマンション初音の里	記録
5	中野紀美子	はびね別府 亀川	
6	峯 光一	スカイホームあけの	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
職種間の連携の手段 ケアプランと現場が繋がっていない システム化ができていない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランに対しての記録票を作成 ・朝のミーティング ・連絡ノート ・システム化 ・他職種とのカンファレンスの実施 ・ケアマネが現場を知った上でプランを作成 (1 か月の現場実習) ・職種間のコミュニケーションを図る

【特定協に依頼すること】

1 - C グループワーク記録用紙

NO.	氏 名	施設名	備 考
1	黒河美樹	白雲山荘	進行
2	吉野淳子	ウェルファ豊丘	
3	西谷昭弘	悠久の里 万葉	
4	山縣てるよ	アーバンリブ金池	
5	朝井都子	ケアマンションひだか	
6	西水佳菜子	小池原 福招苑	欠席
7	末吉奈津子	ケアホーム偕楽園	記録
8	渡邊愛子	おおいた南	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
認知症の方の対応 集中介護室の必要性について	<ul style="list-style-type: none"> ・状況によっては集中介護室を使用することも一つの手段である
心身レベルの異なる方への他入居者からのクレーム等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1で話し合う ・病状、心身状態などの理解を求める ・当事者以外の入居者の協力を得る

【特定協に依頼すること】

1 - D グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	鳥居龍介	グランドホーム古国府	進行
2	平野修一	グローバルライフ生石	
3	吐合ゆき子	檜の樹	
4	福井鶴代	はびね別府 亀川	
5	藤井 剛	おおいた南	欠席
6	菊池康哉	ウェルファ豊丘	記録
7	秦 智紀	ハーモニー四季	
8	中山 泉	まごころ苑	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
相談員の業務 どのような業務を行っているのか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師からの医療情報を家族に伝える ・ 入退居の調整 ・ 相談業務 日々変化のあったこと ・ 介護業務や看護業務との兼務 ・ ケアマネの補助 ケアプランの作成 ・ 家族と入居者とのとりまとめ
物盗られ妄想の入居者の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察を呼んでもらった ・ 本人へは少しずつ渡す工夫をする ・ 家族の理解が必要 心療内科の受診を勧める ・ お金は施設が立替えて本人が持たない
通帳などの管理について 本人が持っていたいという場合	成年後見制度等管理方法を家族に説明し、理解を得ると共に良い方法を選択してもらう

【特定協に依頼すること】

1 - E グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	黒水智和子	シルバーハウス なごみ	
2	志賀達也	はびね別府 流川	
3	山田敬也	白雲山荘	
4	佐藤留美	ジュエル藤原	記録
5	和田純一	ケアホーム玄々堂	
6	秦 近代	はびね別府 亀川	
7	谷川千賀子	ハーモニー四季	進行
8	佐藤義信	ウェルファ豊丘	オブザーバー

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
生活相談員の業務内容 ケアマネとの業務分担について	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネは介護業務全般に関して把握すると共に外部の関係機関との連絡 ・相談員は入居者の生活相談 ・現場にでることで、入居者の様子をより把握できる ・営業 居宅や他施設との連携
オブザーバーからの助言	生活相談員としての基本姿勢等について施設毎の方針を明確にすることが大事

【特定協に依頼すること】

2 - A グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	古賀 学	ケアホーム偕楽園	
2	川久保 洋美	グランドホーム古国府	
3	園田ひとみ	グランドホーム古国府	
4	嶋本光子	おおいた南	進行
5	大山小夜子	グランドホーム坂の市	記録
6	松谷 哲	ジュエル藤原	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
情報の統一の方法	
相談員とケアマネの役割	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の相談や苦情処理は相談員 ・相談の中にはケアマネと相談員で役割分担できないものもある

【特定協に依頼すること】

2 - B グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	石部 純子	アーバンリブ金池	
2	三重野 元江	ジュエル藤原	
3	歳納 京子	悠久の里 万葉	
4	井門俊宏	ケアマンション初音の里	進行
5	中野紀美子	はびね別府 亀川	記録
6			

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
レクリエーションの取組み	
生活相談員とケアマネの業務の分け方	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所など外回り ・相談員もケアプランを立てている ・できないところは施設長がカバーしてくれる
自立の方と認知症の方との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネが家族との窓口になっている ・看護師とケアマネは兼務しない ・家族とよく話し合うことが大事
問題対策を連絡しても実行されない	<ul style="list-style-type: none"> ・介護、看護等専門職はその仕事をするのが一杯で他のことをする余裕がない ・施設の体制にあったやり方をする ・良いと思えることは上司にお願いする

【特定協に依頼すること】

2 - C グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	西谷昭弘	悠久の里 万葉	進行
2	山縣てるよ	アーバンリブ金池	
3	朝井都子	ケアマンションひだか	
4	藤井 剛	おおいた南	欠席
5	菊池康哉	ウェルファ豊丘	
6	黒水智和子	シルバーハウス なごみ	
7	志賀達也	はびね別府 流川	記録
8	渡邊愛子	おおいた南	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
物盗られ妄想の方への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者同士のトラブルは、一方ずつ話を聞いて対処していく ・ご本人が安心できる環境をつくる ・スタッフに対する妄想では精神的な負担になり、そのケアが課題である
レク活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動の拡充を図る ・スタッフが楽しめるレクは利用者も楽しい ・時間が長いと飽きてしまう もう少しやりたい位で止めると意欲が出る ・認知症の方にはそれなりの対応が必要

【特定協に依頼すること】

2 - D グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	黒河美樹	白雲山荘	
2	菊池康哉	ウエルファ豊丘	進行
3	吐合ゆき子	檜の樹	
4	福井鶴代	はびね別府 亀川	記録
5	和田純一	ケアホーム玄々堂	
6	秦 近代	はびね別府 亀川	
7	谷川千賀子	ハーモニー四季	
8	中山 泉	まごころ苑	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
同性介助を求められたときの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・男性が嫌だという原因を突き止める ・有料老人ホームという性格上ある程度希望に沿うように努める
ご家族へのアンケートについて 食事の苦情	<ul style="list-style-type: none"> ・魚などはコストの問題もあるが、魚屋と直接価格交渉する ・厨房業者と入居者との戦いである ・有料老人ホームなのである程度の内容を出すように努める
若いスタッフへの対応 声掛けに対する指導、教育	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉づかいが悪い 勤務評価をして給与に反映させる ・厳しく注意する ・注意をすると集団で反抗してくるときがある

【特定協に依頼すること】

2 - E グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	西水佳菜子	小池原 福招苑	欠席
2	末吉奈津子	ケアホーム偕楽園	
3	鳥居龍介	グランドホーム古国府	
4	平野修一	グローバルライフ生石	
5	秦 智紀	ハーモニー四季	進行
6	山田敬也	白雲山荘	記録
7	佐藤留美	ジュエル藤原	
8	佐藤義信	ウェルファ豊丘	ワザバ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
長期入院の取扱について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との話し合いで今後のことを決めている ・ 施設での対応が出来なくなった場合退去（気管切開による人工呼吸器、IVHなど） ・ 基本的に施設側の都合による退去はできない
ケアマネとの業務分担について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアマネはケアプラン作成担当で相談員は家族との連絡調整を行う ・ 家族との連絡はケアマネが行い、相談員は外回りや病院の受診などを行う ・ 苦情相談の窓口が複数あると入居者が戸惑う
新規入居者の情報（顧客獲得）についてどのように行っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターへの営業 ・ 利用者の知人等の縁者 ・ 病院のソーシャルや居宅のケアマネ

【特定協に依頼すること】

3 - A グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	古賀 学	ケアホーム偕楽園	進行
2	川久保 洋美	グランドホーム古国府	記録
3	歳納京子	悠久の里 万葉	
4	井門俊宏	ケアマンション初音の里	
5	中野紀美子	はびね別府 亀川	
6	松谷 哲	ジュエル藤原	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
業務の進め方	
職員間のトラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネが介護職として業務する日がある ・解決が必要な時は全体会議等で全職員に伝えるようにしている
インフルエンザの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市の要請で夏祭りを中止 ・面会中止 ・バスハイク中止

【特定協に依頼すること】

3 - B グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	石部 純子	アーバンリブ金池	記録
2	三重野 元江	ジュエル藤原	進行
3	園田ひとみ	グランドホーム古国府	
4	嶋本光子	おおいた南	
5	大山小夜子	グランドホーム坂の市	
6	峯 光一	スカイホームあけの	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
家族とのコミュニケーションの取り方	
ニーズの出にくい人の対応 事例 入浴拒否の男性入居者	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴拒否の原因を探る ・その方法として 同性に対応してもらう、ドクターの助言
認知症がある人への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の継続で何らかの発見があり、それが解決へ結び付くことがある ・話し方や本人の興味がある話で気持ちを向けさせる 音楽・回想・作業療法等
医療系のデイサービスの利用	医療との連携が必要

【特定協に依頼すること】

研修後に親睦会を開催して欲しい。

問題点がさらに掘り下げられ、有意義な研修会になるため。

3 - C グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	黒河美樹	白雲山荘	
2	菊池康哉	ウェルファ豊丘	
3	鳥居龍介	グランドホーム古国府	
4	平野修一	グローバルライフ生石	進行
5	秦 智紀	ハーモニー四季	
6	黒水智和子	シルバーハウス なごみ	記録
7	志賀達也	はびね別府 流川	
8	渡邊愛子	おおいた南	ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
人員不足の場合のコール対応について	<ul style="list-style-type: none"> ・全員がピッチを持つことで対応 ・手の空いている相談員、ケアマネが対応
買い物、外出の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・移動販売を利用 ・週に一回買い物代行 ・コンビニに買い物バスを運行 ・ケアプランに買い物支援を組み込む ・タクシーを利用 ・できない事はお断りする

【特定協に依頼すること】

3 - D グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	西水佳菜子	小池原 福招苑	欠席
2	末吉奈津子	ケアホーム偕楽園	
3	藤井 剛	おおいた南	欠席
4	菊池康哉	ウェルファ豊丘	
5	和田純一	ケアホーム玄々堂	記録
6	秦 近代	はびね別府 亀川	
7	谷川千賀子	ハーモニー四季	
8	中山 泉	まごころ苑	進行 ワザ-バ-

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
入居者（男性）のスタッフや他の入居者に対するセクハラ対応	
職員間のトラブル	・コミュニケーションを図る

【特定協に依頼すること】

3 - E グループワーク記録用紙

NO.	氏名	施設名	備考
1	西谷昭弘	悠久の里 万葉	
2	山縣てるよ	アーバンリブ金池	
3	朝井都子	ケアマンションひだか	進行
4	吐合ゆき子	檉の樹	記録
5	福井鶴代	はびね別府 亀川	
6	山田敬也	白雲山荘	
7	佐藤留美	ジュエル藤原	
8	佐藤義信	ウェルファ豊丘	ワザ-バー

【話し合いの内容】

テーマ	今後の進め方
相談員としての心がけ	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者、家族との信頼関係を築く ・気軽に話しかけていただく雰囲気づくり ・やさしさ、思いやり、傾聴、共感、受容 ・押し付けしない生活フォロー ・入居者や家族の代弁者
生活相談員の仕事の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・介護でも看護でもなく、入居者側につく

【特定協に依頼すること】

第1回定例研修会アンケート集計 (回答数31件)

【研修時間について】

「丁度よい」が30件(97%、1件は無記入)

【研修内容について】

1. 講演の内容はいかがでしたか？

*「参考になった」「良かった」が23件(74%)

以下その他の意見です

もっと具体的な事例や方法論を聞きたかった

単調で眠かった

もう少しメリハリをつけてもらいたかった

職場のみならず、自分のストレス対応に実行したい

現場スタッフに最も必要なこと、今後のスタッフの育成、定着に重要な話だった

プロの先生による講演は方向性がみえて良かった

2. グループワークはいかがでしたか？

*「参考になった」「良かった」が25件(81%)

以下意見の概要です

一つのテーマにとらわれず自由な意見が出て良かった

メンバーをもっとシャッフルして欲しかった

他施設との情報の共有やサービスの内容の違いが分かって良かった

30分は短かった 45分間の2回くらいがいいのでは

気の合いそうな人が見つかった

始めは短いと思ったが、実際やってみたら丁度よかった

自分の施設と同レベルのところもあれば、しっかりしているところもあった

少人数でのグループワークが良い 今後連携も取りやすい

事前にテーマを出して、各施設が資料(事例、様式等)を持ち寄ることができた
らさらに良かったのではないかと

3回のグループ討議が多かった 3回目は意見があまり出なかった

【今後の特定協の活動に希望すること】

ケアマネさんが集まって話し合える場が欲しい
年に何回か（2回程度）実施して欲しい
いろいろな分野の職員の交流ができる場をつくって欲しい
他の施設との交流ができる環境をつくって欲しい
実際の業務に役立つテーマ、グループワークを希望
同じ職種間で本音を話し合える場が欲しい「
テーマを決めて、多くの施設のサービス内容（事例）が分かるようにして欲しい
施設間の見学を積極的に行うことで、横のつながりが出来るようにして欲しい

【その他のご意見】

会員施設間の施設見学会を実施して欲しい
こんな機会をもっと増やして欲しい